



アスリートから学ぶ

2学期がスタートしました。保護者の皆さま、地域の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。今年の夏休みも新型コロナウイルス感染症の新規感染者の急増、緊急事態宣言、学校の部活動も休止になるなど落ち着かないものになりました。デルタ株の影響でしょうか、PCR検査を受けるかとも増えてきたようで、学校へ連絡が入ることも、いくつかありました。大阪狭山市では12～15歳のワクチン接種予約が始まっているようです。接種する場合は土日祝日が授業への影響もないため望ましいのですが、予約の状況もあります、遅刻や早退、また副反応による欠席の場合は担任までご相談ください。

このワクチン接種、強制ではありません。効果とリスクを考え、自らの意思で決めるものです。希望しない人や接種ができない人もいます。そのため、私も職員に接種を促したり、生徒の接種状況を把握するつもりはありません。子どもたちがそれぞれのご家庭や個々の状況を知らない中、生徒間で接種を強制したり、また接種していない人に差別的な扱いをすることのないよう、大人がしっかりと話をしていきましょう。



さて、この夏休み、私の中で大きなイベントは「オリンピック・パラリンピック」でした。9月5日まで続くこの大会、賛否両論ありますが、私は全力で競技に取り組むアスリートの姿から、多くの感動をもらうことができました。この原稿を書いている時点で私がこの大会で印象に残っていることが、3つあります。

1つめは体操の橋本大樹さんの言葉です。10代でメダル3つ（金2つと銀1つは史上初）を獲得するなど素晴らしい結果を残しましたが、インタビューの中で「今大会を通じて成長したと思う。追われる立場だが、世界チャンピオンとして譲らず、気持ちもおごらず、自分の理想の演技をつきつめてまた世界一を取りたい」と話していました。世界一の座を譲らないという強い気持ちと謙虚な姿勢、さらなる高みをめざす意欲はとても10代の発言とは思えず、「すごい！」と思いました。

2つめはウエイトリフティングのローレル・ハーバードさんの出場です。スポーツにおける「性の多様性を認めること」について、考えていく1つの契機になったと思います。

最後3つめはスケートボード女子ストリートに出場した西矢椀さんの活躍です。同じ大阪、南河内地区の中学生が金メダルを獲得する。子どもたちにとっても大いに刺激になったのではないのでしょうか。彼女は自分がスケートボードで滑っている様子を両親に撮影してもらい、それを熱心に見返し練習する、そのときの集中力や練習に向き合う姿勢が他の子と大きく違っていたようで、結果には必ずその課程で、たくさんの努力があるのだと感じました。



2学期は体育大会や音楽コンクール、3年生は修学旅行や進路に向けて動きます。謙虚な姿勢や意欲、違いを受け入れ認め合う心、そしてたくさんの努力が結果に結びつくこと、これらアスリートが私たちにくれたメッセージを子どもたちの学びにつなげたいと思います。

とはいえ、感染症の状況によっては、これらの行事を含め、教育活動の制限も検討していくことになります。保護者や地域の皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

校長 寺下 憲志

8・9月の主な行事予定

- ・子どもの人権110番強化週間(8/27~9/2)
- ・防災の日(9/1)給食は防災カレーになります。
- ・防災週間(8/30~9/5)

8月

- 30日(月)始業式(給食なし)
- 31日(火)短縮授業(給食なし)



9月

- 1日(水)給食スタート
- 2日(木)3年生チャレンジテスト
1,2年生実力テスト
- 3日(金)大阪880万人訓練
- 16日(木)歯科検診
- 22日(水)体育大会(お弁当が必要です)
- 24日(金)体育大会予備日(お弁当が必要です)



両日ともお弁当の準備をお願いします。

9月のカウンセラー(高木先生)来校予定は、7日・14日・28日です。相談希望の方は事前の予約をお願いします。 TEL 365-0071(狭山中)

検温のご協力をお願いします

登校する際には、必ず自宅で検温をして、配付している用紙に記入して持ってくるようにご協力をお願いいたします。

